

今回は、令和 6 年 4 月に組織改正で新たに障害者生活支援課に設置された「事業者支援係」の業務を紹介します。

障害者生活支援課事業者支援係の令和 6 年度の主な業務

① 事業者連携による人材育成の取組

2 ページ

- ▶ 公民職員が共に学ぶ研修の開催
- ▶ 新規事業所等への開設支援及び
専門職による巡回支援(新規)
- ▶ 杉並区障害福祉サービス事業者等介護職員
初任者研修過程等受講料助成(新規)



② 事業者連携による人材確保の取組

3 ページ

- ▶ 障害福祉のおしごと就職相談・面接会
- ▶ 知的障害者ガイドヘルパー講座
- ▶ 杉並区社会福祉士等実習指導者講習会
受講料助成 (新規)
- ▶ 大学生等への施設訪問・体験会(新規)



③ 事業者連携で取り組むための支援事業

4 ページ

- ▶ 障害福祉サービス事業所等検索システムの開設
(新規)
- ▶ 業種別連絡会の開催 (新規)
- ▶ 共生型サービス事業所開設促進事業の実施



① 事業者連携による人材育成の取組

▶ 障害者(児)通所施設の公民職員が共に学ぶ研修の開催

No.	研修名	形式	対象	内 容	開催 予定
1	障害現場職員初任者向け講習会	集合型	障害分野の経験が浅い職員	障害福祉サービスの制度全体の基礎的な知識を学ぶとともに、区内の社会資源を知り理解を深めるため実施します。	5月27・30日
2	職層別ステップアップ研修	集合型	施設等の職員管理者層	制度改正や困難事例の共有など、障害者施策に係る今日的な課題を把握し、解決に向けた検討する場として実施します。	7月1日 16～18時
			施設等の職員中堅層（5年以上）	日常業務や若手の育成等において必要なファシリテーターを学ぶ講座を実施するとともに、受講した職員が若手職員対象講座のファシリテーターを担います。	9月27日 16～18時
			施設等の職員若手職員（5年未満）	障害者分野で働く上で必要な知識をワークショップ形式で学ぶことで、他施設の職員と交流を図ることも目的として実施します。	11月29日 16～18時
3	施設間体験研修	施設出張	2年目から中堅層の施設等職員	公立・民間や、サービスなどの垣根を越え、他の施設で行うサービス内容を知る機会として実施します。※1日もしくは2日間。	7月～1月の間 随時
4	施設間ケーススタディ研修	施設出張	・主に中堅層の施設等職員 ・同種の施設別	実例を基にしたケーススタディを行うことで、職員の経験値を高め、課題への対応力向上を目的、原則ケース提案施設で実施します。 ※アドバイザーとして、区立通所施設職員、施設経営者などを派遣。ケース検討内容の記録をデータベース化。	6・9・10・11・1月
5	障害支援者リレー研修	施設出張	・施設等職員 ・施設所在地での地域別	区がパッケージ化した研修内容を基に、研修主催施設の職員が職場研修として、次回の研修主催施設等の職員を招いて実施します。	6回(前期・後期各2回×3地域)

※これらの研修は、区の施設職員等で構成する「障害福祉人材育成委員会」で、企画検討しています。

※「障害者虐待」「強度行動障害」「医療的ケア」などの専門研修の情報も共有して進めます。

▶ 公立施設の専門職等による巡回支援(新規)

理学療法士・作業療法士の配置がない施設などを対象に、区専門職の巡回による日常生活動作等の評価及び支援内容の助言を行うとともに、新規開設事業所職員の実践力向上や開設後の安定的な運営を支援するため、区立障害者通所施設を研修の場として民間施設職員の受入れを行います。

▶ 障害福祉サービス事業者等介護職員初任者研修過程等受講料助成(令和6年6月から)

障害福祉サービス等事業所で、あらたに介護の仕事を始めようとする方、さらにレベルアップを目指すヘルパーを希望する方に対して、「介護職員初任者研修」「介護職員実務者研修」の受講料の助成を行います。

助成額	介護職員初任者研修:受講料の9割または8万円のいずれか低い額 介護職員実務者研修:受講料の8割または12万円のいずれか低い額 ※いずれも千円未満切り捨て
対象者	次のいずれにも該当する方 ①令和6年4月1日以降に受講が終了し修了証をお持ちの方 ②上記①の受講が終了した日から3ヵ月以内に、区内の事業所に勤務し、3ヵ月以上勤務が継続している方（派遣は対象にはなりません）

② 事業者連携による人材確保の取組

▶ 障害福祉のおしごと就職相談・面接会

令和6年度は、9月29日(日)午後開催を予定しています。

参加事業者の募集は、5月28日から6月25日を予定しています。

(参考) 令和5年度 9月24日(日)13:00～16:00

参加事業者数 15所 来場者 52名

採用者(令和5年11月30日時点) 5所 5名

▶ 知的障害者ガイドヘルパー講座

知的障害者のガイドヘルパーとして活動するための知識や技術を学ぶ講座で、修了者には「東京都障害者(児)移動支援従事者養成研修の修了証明書」を交付します。

【第1回目の講座日程等】

日時	6月15日(土)開校 全4回 6月15日/6月16日/6月17日から8月14日までのうち1日実習/8月25日
会場	杉並区役所分庁舎
定員	20名
募集締切	5月23日(木)

第2回目は、10月中旬開校で、8月15日号の広報等でお知らせします。

▶ 社会福祉士等実習指導者講習会受講料助成(令和6年6月から)

障害福祉サービス等事業所で、社会福祉士及び介護福祉士の実習生を受け入れるために必要な実習指導者を職員に受講させた場合、受講した職員に対して、「社会福祉士実習指導者講習会」「介護福祉士実習指導者講習会」の受講料の助成を行います。

助成額	受講料または2万円のいずれか低い額 ※千円未満切り捨て
対象者	次のいずれにも該当する方 ①令和6年4月1日以降に受講が終了し修了証をお持ちの方 ②上記①の受講が終了した日から3ヵ月以内に、区内の事業所に勤務し、3ヵ月以上勤務が継続している方(派遣は対象にはなりません)

▶ 大学生等への施設見学ツアーの実施

大学生等が障害者通所施設等を見学するツアーを開催し、学生が教育課程で障害分野の実習を専攻したり、障害分野で働くイメージをつくるきっかけとして実施します。

※1日に複数事業者を見学できるツアー。

令和6年度は、試行で春に3大学各1回開催予定

■ (仮称)障害者福祉人材確保・育成懇談会

大学生等への施設訪問・体験会の取り組みを進めるにあたり、学識経験者・民間通所施設等で構成する人材確保・育成検討委員会で検討しながら進めていきます。

③ 事業者連携で取り組むための支援事業

▶ 障害福祉サービス事業所等検索システムの開設

杉並区の障害福祉サービス、障害児サービス、区独自のサービスなどを提供する事業者の基本情報や空き情報などを検索できるシステムを構築し、情報提供の充実を図ります。

また、本システムでは、事業者のみが閲覧できる関係者サイトを設け、区と事業者がタイムリーに情報を共有できるようにするなど、事業者間での情報共有が図れるような仕組みもあわせて検討していきます。

サイトでは、特定の事業者同士が情報共有できる掲示板機能も検討しています。

今後サイトに関する調査を予定していますので、ご協力をお願いします。

【運用開始予定】令和 7 年 1 月

※秋以降、事業者情報の掲載にあたり、全事業者への調査を実施予定です。

▶ 業種別連絡会の開催

現在、同業種間の連絡会のない訪問系サービスやショートステイの事業者連絡会の立上げ、情報共有を図ります。

▶ 共生型サービス事業所開設促進事業の実施

共生型サービス事業所とは、平成 30 年に国が創設した制度で「介護保険」か「障害福祉」のどちらかの指定を受けている事業所が、もう一方の制度の指定をうけやすくするものです。

区では、高齢の障害者等が個々の身体状況や特性に合わせてサービスを選択して利用できるよう、介護保険サービス事業所が障害福祉サービスを提供する「共生型サービス事業所」を開設した場合に、開設や障害者を受け入れた場合の経費の一部を助成することで、開設を促進します。

掲示板

- 7/1(月) 16～18 時、杉並保健所で、障害者(児)通所施設等の施設長・現場リーダーを対象に「(仮称)人材確保育成、今私たちができること」をテーマとした研修を行います。区外 2 事業者の事例を聞きながら、一緒にアイデアを出し合い、実践してみましょう。【申込は 6/19(水)まで】

→ 5/30～の「まらいふ杉並」に掲載 (障害者生活支援課事業者支援係)



の「まらいふ杉並」

- 9/29(日) 13～17 時に実施する障害福祉のおしごと就職相談・面接会の参加事業者を募集しています。【申込は 6/25(火)まで】

→ 事業所・法人あてに募集要項を郵送。5/30～の「まらいふ杉並」に掲載 (障害者生活支援課事業者支援係)



- 区内の公共施設などにある「ふらっと立ち寄れるスペース」や、その施設で開催する「だれでも参加できるプログラム」などを紹介する障害者の余暇支援ブック「よかじる」は、「のーまらいふ杉並」に掲載しています。(障害者施策課事業推進係)

こちら



- この情報誌「つぐみ」は、令和 7 年 1 月に開設する検索システムに掲載予定の事業者の皆様へ、システム開設までは、原則メールでお知らせいたします。そのため、メールなどを確認させていただく場合がありますので、協力をお願いいたします。